

谷川士清の会もボランティアガイドを始めました

谷川士清の会では、士清の顕彰のために、設立以来士清の業績の研究、市民に啓発のための公開講座、子供達に士清の業績を学んでもらうための小学校出張講座・洞津谷川塾での講話などの活動をしてきましたが、平成15年10月に実施したみえ歴史街道構想推進協議会主催の「歴史街道ウォーク～士清さんの史跡をたどる～」において、士清史跡などのガイドを担当したことをきっかけに、独自でガイド研修を実施し、ボランティアガイドの技術を身につけました。そこで士清の業績を広く市民に知っていただくためには、士清旧宅や士清史跡などを気軽に見学にきてもらって、私たちが心を込めたガイドをして、士清の業績について目で見、肌で感じていただければ、更に理解を深めて、親しみを持っていただけるとの趣旨で、「ふるさと三重の語り部」に登録して、平成16年4月から12人の語り部で、正式にボランティアガイド団体として発足しました。

主なガイド実績としては、9月30日に三雲小学校生徒61人を、10月30日にみえ歴史街道構想推進協議会主催のボランティアガイド研修講座参加者約50人を、11月24日に神戸小学校生徒78人を、12月14日に松寿会三重ブロックの会員60人をガイドしました。いずれもスムーズに案内でき、お客さまからも感謝の言葉をいただき、語り部としての自信をつけることができました。これからもっとボランティアガイドの周知宣伝を活発にして、一人でも多くのお客さまをガイドしたいと思います。(西山光正)

■伊賀街道 士清まつり

5月9日(日)・10日(月)

※大盛況の記念講演会(9日午前10時～旧宅にて)

講師として南山大学の安田文吉教授に来ていただき、「街道の江戸文化」と題してお話を聴きました。雨天にも関わらず、旧宅に入りきれないほどの大盛況。さすがテレビでもおなじみのお顔とユーモアたっぷりの名古屋弁の名調子に、しばらく時を忘れてしまいました。無料な上に、参加者に士清タオルが配られたりして、混雑した程の入りで、参加目標50人を大きく上回りました。地元の自治会長谷口半一氏も挨拶して下さいました。

午後は、「谷川士清史跡をめぐるウォーク」(希望者)を実施、会員が案内しました。



(写真：入りきれない程の参加者)

※士清花コンテスト

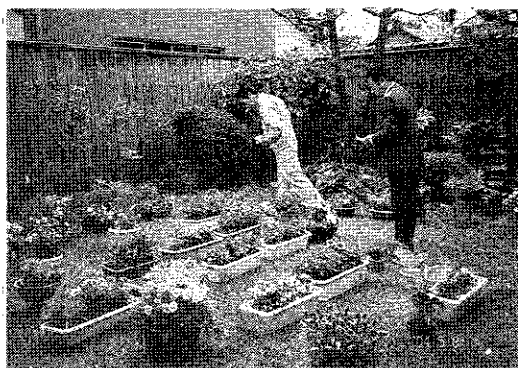
地元八町・新町地区の人々に士清まつりに合わせ、フラワーポット等を設置して、士清まつりを花で飾ってもらい、その中から優秀作品を表彰し、花苗の無料配布を行ないました。(計240本)

審査の日は好天でしたが、展示日は雨天のため、中庭に展示して見てもらいました。(担当は竹田豊さん他)

(写真下)

※お茶会

神社での式典の行われた10日に、福蔵寺境内で実施。100人ほどが参加し、馬場副代表の社中の人と会員が奉仕しました。



※士清関係資料の展示

(9日～2週間)

旧宅で、谷川士清関係資料(常設展示以外の)を展示。神宮寺の36歌仙扁額(非公開)のコピーをパネル化したもので塚澤事務局長の労作です。